

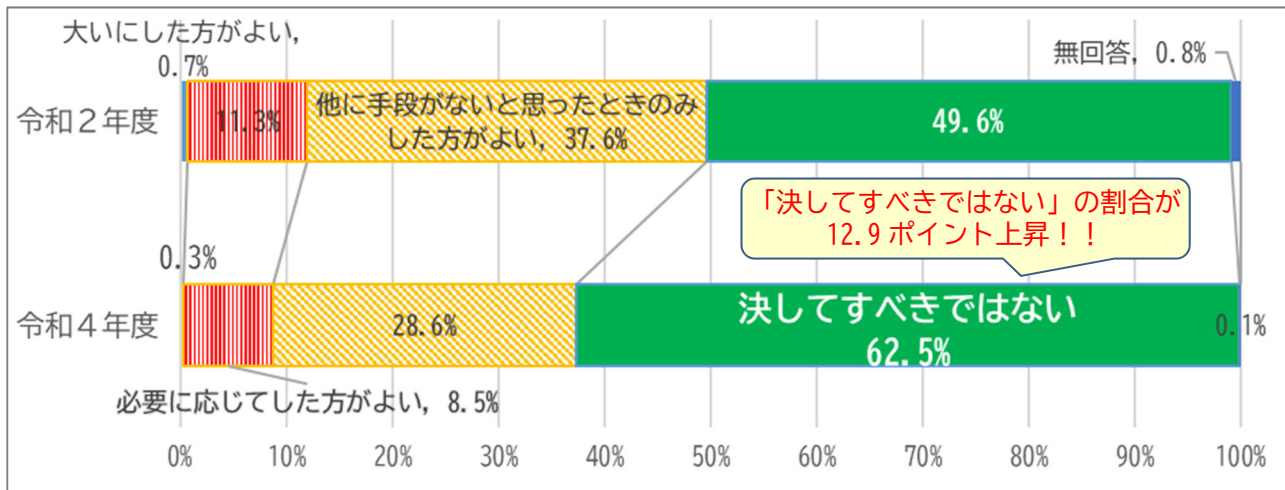
「体罰」によらない子育ての理解が広がっています！

～子どもに対するしつけと体罰に関するアンケート 実施報告

令和2年度に引き続き、横浜市民を対象に「子どもに対するしつけと体罰に関するアンケート」を実施しました。

前回の調査結果と比較すると、体罰を決してすべきではないと考える人が増加しており、令和元年の「児童虐待の防止等に関する法律」の改正や、令和3年の「横浜市子供を虐待から守る条例」の改正、などの効果がうかがわれる結果となりました。体罰によらない子育てを更に推進するため、体罰が子どもに与える影響や、体罰によらない子育ての工夫などの情報発信を行うとともに、見守りや支援体制を強化する地域づくりに取り組みます。

Q1 しつけのために、子どもに体罰を行うことに対してどのように考えますか。



1 アンケートの概要

(1) 調査期間

令和4年10月21日～12月16日

(2) 対象と回答者数

横浜市民 1,324人

(3) 回答方法

横浜市ウェブサイト、横浜市公式LINE/Twitter等から横浜市電子申請システムにアクセスし、アンケートフォームへ入力

(4) アンケート結果概要

- ・体罰を容認しない方の割合が、前回調査よりも12.9%増加し、62.5%になりました。
- ・子どもをしつけのために「たたく」ことについて、「お尻をたたく」と回答した方の割合が約24%減少し、「いずれも必要ではない」の割合が約25%増加しました。
- ・しつけのために、子どもをたたく理由について、「その場で問題行動をすぐにやめさせるため」や、「口で言うだけでは子どもが理解しないから」子どもをたたく必要があると回答している方が一定数いることがわかりました。

<参考> 令和2年度調査

令和2年5～6月にヨコハマeアンケートによる調査を実施。回答者は1,262人。体罰をすべきでないという方が半数、体罰を容認する方が半数、という結果でした。



キャッピー
横浜市子ども虐待防止のキャラクター

(5) アンケートに寄せられた主なご意見

- ・叩かなくても子どもにしつけはできる。
- ・最初は口頭で叱る。それでも効果が見られないときには、体罰でもいいと思う。
- ・虐待としつけは違う。ひとくくりに叩いてはいけないというのはいかがか？
- ・子ども時代に痛みを知ることも大事だと思う。
- ・自分がそういう育て方をされたから、それ以外の方法を知らない。
- ・体罰などに頼らないしつけの方法を広く知らせてほしい。

2 しつけと「体罰」をめぐる動き

令和元年 「児童虐待の防止等に関する法律」改正。親権者による体罰の禁止が明文化。

令和3年 「横浜市子供を虐待から守る条例」改正。体罰等の禁止と子供自身が一人の人間として尊重されることを追記

令和4年 「民法」改正。親権者の懲戒権に係る規定が削除されるとともに、体罰などの禁止を定めた条文を新たに追加。

3 これからの取組

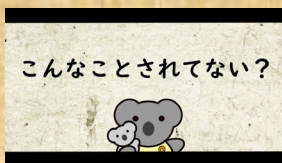
SNS を活用し、体罰が子どもに与える影響や、体罰によらない子育ての工夫などの情報発信を強化します。

さらに、児童虐待や体罰によらない子育てを正しく理解し、子育て世帯を温かく見守る方が一人でも増えるよう、地域で子どもや養育者の支援に携わる方などを対象に講座を行い、地域の見守りや支援体制を強化していきます。

アンケート調査結果の詳細は、こちらからご覧ください。

[検索](#) → [体罰によらない子育てのために](#) [横浜市](#)

体罰によらない子育てを広げよう！
YouTube 横浜市公式チャンネルで動画配信中！



子ども向け動画



養育者向け動画



市民向け動画



お問合せ先

こども青少年局こどもの権利擁護課長

柴山 一彦 Tel 045-671-4208